

補足ガイド CARD MATE YJ-G650 清掃について

この度は、CARD MATE YJ-G650をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
YJ-G650は、利用頻度により紙粉やインク付着で給紙不良や用紙汚れが発生する場合がございます。
そのため、定期的な清掃をお奨め致します。

この補足ガイドでは、お客様で可能な3箇所の清掃方法についてご説明させていただきます。

清掃の際は、必ず以下の手順で行ってください。

① **YJ-G650の電源を必ずOFFにしてください。**

電源がONの状態で行うと、ローラの巻き込み等でケガをする恐れがあります。

② **けばだちの少ない布をご用意して頂き、水を軽くふくませて絞ってから清掃してください。**

③ **清掃を行うときは、ローラ巻き込み等に十分ご注意ください。**

④ **清掃時は、金属やプラスチックに若干とがった場所等もありますので十分ご注意ください。**

I 給紙部ローラ清掃方法について

背面オートシートフィーダーの給紙部ローラが、紙粉などで汚れていると滑って給紙不良が起こりやすくなります。そのため、背面オートシートフィーダーの定期的な清掃をお奨め致します。

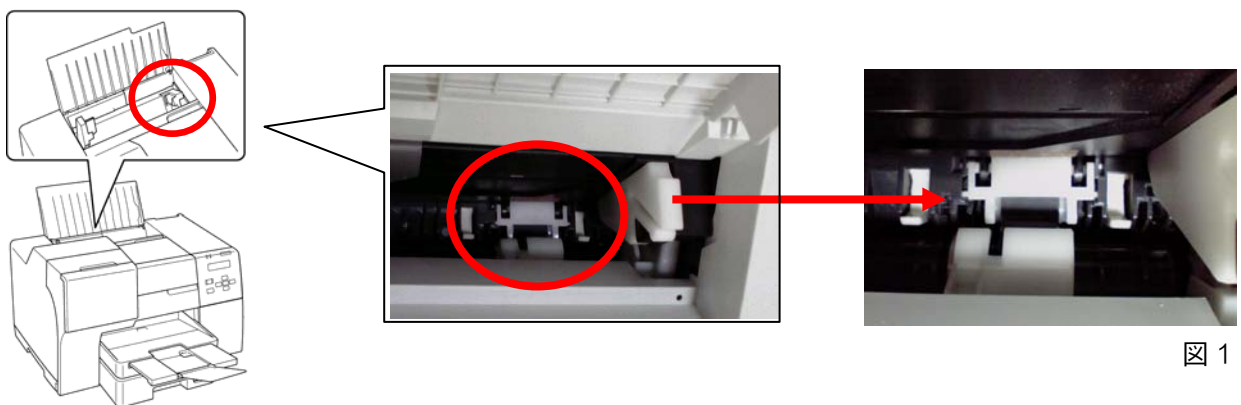


図 1

A 給紙部ローラ（上部）の清掃

上にあげるように回しながら清掃します。〈図 2 参照〉

（本体左側から見てローラが時計回り）



図 2

B-I 給紙部ローラ（下部）の清掃

中に押し下げるように回しながら清掃します。〈図 3 参照〉

（本体左側から見てローラが時計回り）

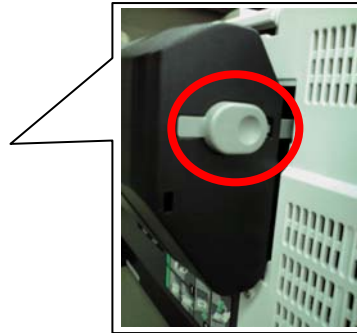
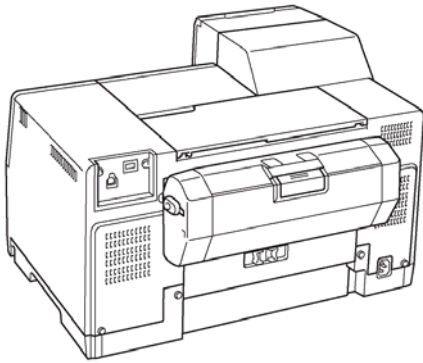


図 3

※ ただし、下部のローラについて清掃しづらい場合は、次ページの方法で清掃を行ってください。

B-II 給紙部ローラ（下部）の清掃

- ① 背面にある自動両面ユニットを外します。左右にあるボタンを押しながら斜め上にあげて外します。



両面ユニットのボタン

図 4

- ② 自動両面ユニットを外して背面から見ると〈図 5 参照〉
給紙ローラの下側がみえることを確認します。（赤丸部分）

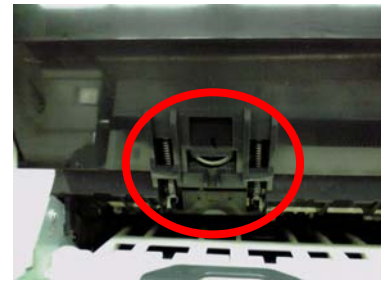


図 5

- ③ 給紙口下側のローラを軽く押します。
〈図 6 参照〉

注意：

あまり強く押さないで下さい。プラスチックカバーはできるだけ触らないで下さい。部品が外れる場合があります。

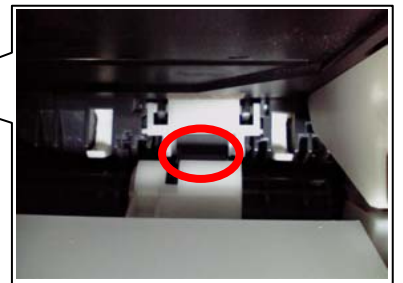
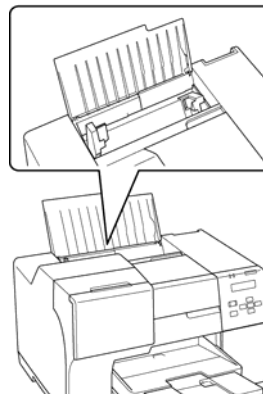


図 6

- ④ 背面から見ると下側のローラを押したことで、〈図 7 参照〉
バネが伸びてローラが下に移動しているのがわかります。

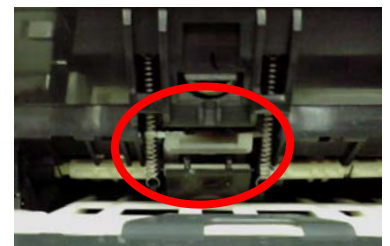


図 7

- ⑤ 下に移動したローラの黒プラスチック部分を片方の指で軽く押さえます。
清掃するときもずっと押さえたままにしておきます。〈図 8 参照〉



図 8

- ⑥ 給紙部ローラを確認すると下側のローラが若干下がってスペースが空いているのがわかります。

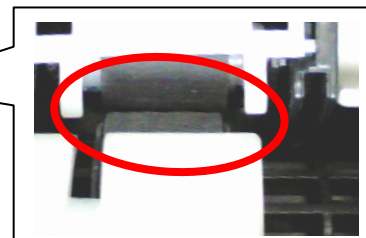
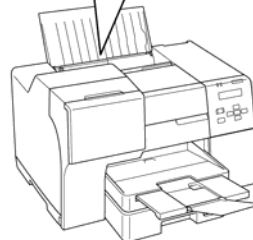
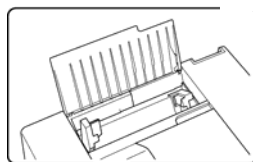


図 9

- ⑦ この状態で下側のローラを軽く奥に、押し下げのように回しながら清掃します。
(本体左側からみて時計回りに)
〈図 10 参照〉

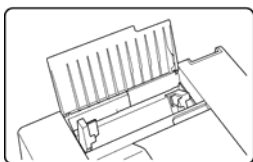


図 10

II 搬送路清掃方法

搬送路がインクで汚れると用紙に付着してしまう場合があります。また、紙粉も溜まりプリンターヘッドに悪影響を及ぼす場合がございますので、定期的な清掃をお奨め致します。

- ① 本体正面にある「YAMAZAKURA」ロゴがある部分のカバーを上を開けます。

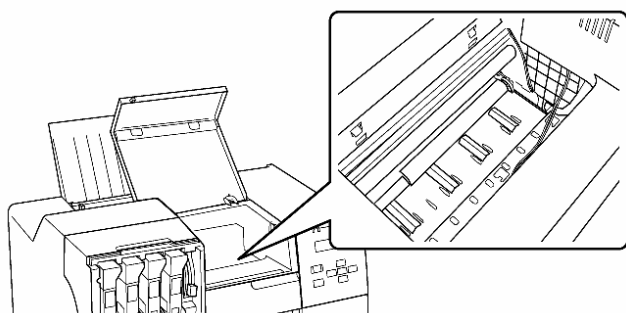


図 11

- ② 内部を確認して、インクで汚れている場合は、右図の赤丸のようになっています。
紙粉で汚れている場合は、搬送路が白くなっています。
〈図 12 参照〉

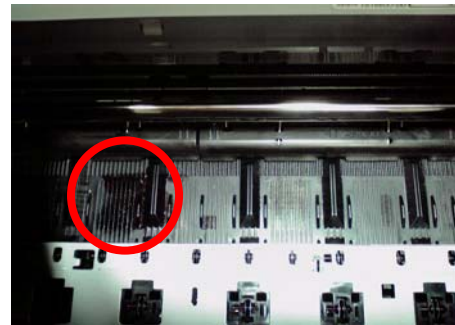


図 12

- ③ 黒色の搬送路を清掃します。
〈図 13 参照〉



図 13

Ⅲ 排出部ローラ清掃方法

排出部にあるローラが紙粉で汚れると、用紙の後端が滑って印字品質が低下する場合がございます。その場合、図 14 に記されている赤丸部分の小さいローラ 6 個を清掃することで、改善されることがあります。

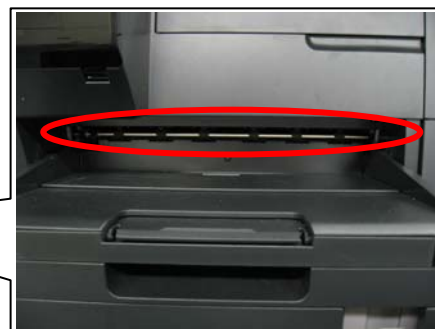
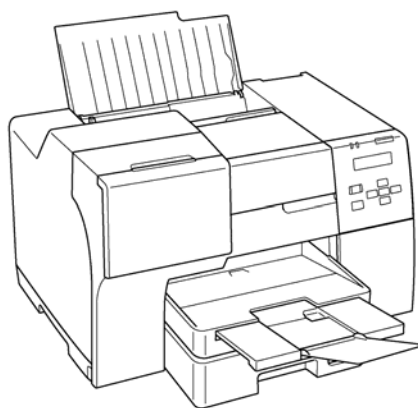


図 14

- ① ローラは手動では回転させませんので、本体から用紙を全て取り除き、本体の電源を ON にします。
本体操作パネル上でノズルチェック等の項目を実行してローラを回転させます。
(ローラを回転させることがメインなので、パソコンから印刷命令を出しても大丈夫です。)

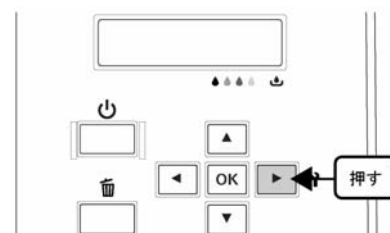
例) ノズルチェック手順について

- i 右図のように本体の正面右上の操作パネルの【▶】ボタンを

押して、

セッテイメニュー
◆ プリンタセッテイ

を表示します。



ii 【▼】ボタンを押して

セッテイメニュー
◆ テストインサツ

 を表示させて、【OK】ボタンを押します。

iii

テストインサツ
◆ ノズルチェック

 が表示されますので、【OK】ボタンを押します。

iv

ノズルチェック
◆ OK/CANCEL

 が表示されますので、【OK】ボタンを押します。

v ローラが回りだしたら(ローラは排出側(正面)に向かって回ります。)

図 15 の様にローラを押さえて清掃します。

このときにあまり強く押さえないで下さい。

清掃用の布がローラに巻き込んだりしないようにご注意ください。




図 15

vi 【ヨウシカセットニ ヨウシヨセットシテクダサイ】エラーがでるまで、一つのローラを清掃して下さい。

エラーがでたら次のローラを清掃するため【OK】ボタンを押して再度ローラを回します。


6 個のローラがありますので、最高合計 6 回行います。

vii 全てのローラの清掃後、印刷命令をキャンセルして下さい。【キャンセル】ボタン()を押して下さい。

【キャンセルチュウ】の表示の後、

テストインサツ
◆ ノズルチェック

 に戻ります。

再度、【キャンセル】ボタン()を押して下さい。

パネルステータスが【インサツカノウ】状態に戻ることを確認して下さい。



排出部ローラに手が届かないときや清掃が困難な場合

前面用紙カセットと、排出補助ガイド(排出トレイと一体)をはずしてから清掃します。

排出補助ガイドの外し方

片方で本体を固定させて、もう片方で左右にふりながら手前に引き出すと外しやすいです。

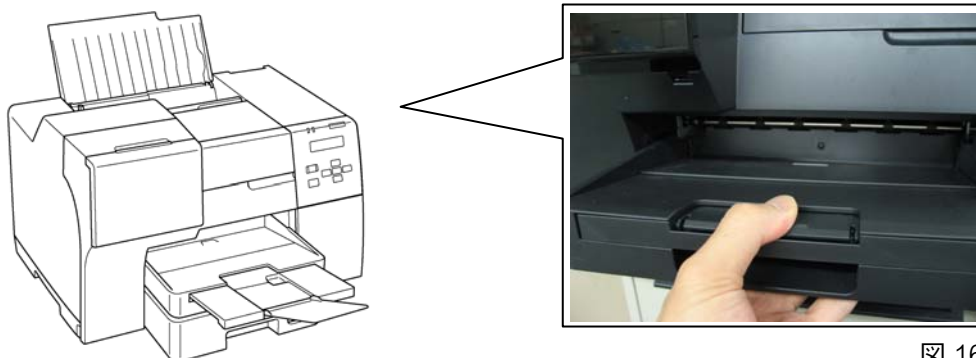


図 16

補助ガイドの取り付け方

下図の青丸部分に排出補助トレイの端にある丸い(赤丸)部分をしっかり押し込んで入れます。前面給紙トレイとほぼ平行になる状態が正常位置です。〈図 17・18 参照〉



図 17



図 18

以上で終了です。